総　務　常　任　委　員　会　記　録

令和８年５月15日（金）午後１時00分～午後１時30分（第１委員会室）

○出席委員（９名）

委 員 長	沢井　和宏
副委員長	石山　波恵
委　　員	三浦由美子
委　　員	鈴木　　哲
委　　員	後藤　善次
委　　員	鈴木　正実
委　　員	村山　国子
委　　員	宍戸　一照
委　　員	半沢　正典

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案　　件

所管事務調査「市民が安心して過ごせる避難所に関する調査」

１　委員長報告のまとめについて

２　次回の所管事務調査の実施について

３　その他

午後１時00分　　開　　議

（沢井和宏委員長）ただいまから総務常任委員会を開会します。

なお、地球温暖化防止など環境対策の一環として、今回の委員会から10月末までの期間はネクタイ、上着の着用は自由といたしますので、よろしくお願いをいたします。

初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

前回の委員会では、正副委員長手元でまとめた委員長報告の素案を確認し、ご協議いただきました。その際いただいたご意見を基に、修正した委員長報告案を通常版と項目追加版の２通りご準備いたし

ました。

初めに、資料、「通常版」委員長報告（案）をお開き願います。まず、前回の委員会において大きく４つの点についてご意見をいただきました。１点目は、給食センターを利用した炊き出しの実績についてでありますが、確認したところ、東日本大震災の際に東部学校給食センターにて震災翌日の３月12日から３月31日まで炊き出しを行った実績があるということを確認いたしました。そのため、ご覧いただいております資料の２ページ14行目の表現については修正は行わないと整理しました。

２点目、５ページ２行目から５行目にかけて、民間施設の利用に関する提言項目の表現について、ご意見いただいたとおり修正しておりますので、ご確認ください。乳児の受け入れ等にも対応できるようというふうにしました。

３点目は、全体的に文章に読点が多いとのご指摘がございました。こちらについては、可能な限り読点を削らせていただきました。全体で８か所程度削っております。

以上の３点については、通常版、項目追加版、共通の修正となっております。

続いて、資料、「項目追加版」委員長報告（案）をお開き願います。４点目といたしましては、前回の委員会において災害時の情報の取扱いについて、文京区の事例を絡めて提言に含めてはいかがかというご意見をいただきました。こちらについては、正副委員長としては、委員長報告の構成や今までの委員会での議論を再度確認させていただきました。その上で、今回の調査テーマが避難所であること、そしてこれまで議論してきた委員長報告の構成の大幅な修正は控えるべきであること、前回、その前の委員長報告の骨子の段階でこの内容については触れられていなかったので、その骨子を基にして委員長報告をつくったので、なるべく大幅な変更にはしたくないということでご覧の４ページ19行目、項目を変更して、２点目は、民間施設等の部分を民間施設やＩＣＴ等の活用というふうな項目に直しまして、それで５ページの６行目から11行目にかけて付け加えております。それで、ＩＣＴのさらなる活用による避難所の情報連絡体制の強化という観点で、その部分についての提言内容として追加したところであります。

以上が前回からの４点修正ということになりますが、この後５分ほど時間を取りますので、黙読いただきます。黙読後、修正内容と項目を追加することに対するご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、黙読よろしくお願いします。

【資料黙読】

（沢井和宏委員長）それでは、まず１点目から３点目の修正や読点の削除についてご意見のある方はお述べください。よろしいでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）それでは、１点目から３点目まではこのように修正します。

続きまして、ＩＣＴに関する提言内容の追加についてでありますが、このように追加してよろしい

かどうかという、まずその点なのですけれども、追加してよろしいでしょうか。同時にこの民間施設、その活用の部分での多様なニーズへの対応という観点で、この情報提供ということでＩＣＴの活用について記述ということでよろしいですか。内容的にこの文章、文言でよろしいでしょうか。大丈夫ですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）それでは、記載のとおり内容を追加することとしたいと思いますが、ご異議ございませんね。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）では、ただいまの「項目追加版」委員長報告（案）につきまして、各会派内での調整をこれからお願いしたいと思います。委員会閉会後、各会派、確認用フォルダーを作成いたしまして、そこに会派確認用のデータを配付いたしますので、各会派において調整願います。よろしくお願いします。そういたしまして、次回の委員会において会派内調整の結果を会派ごとにご報告いただくことでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）それでは、そのようにさせていただきます。ありがとうございます。

次に、次回の所管事務調査の実施についてを議題といたします。

調査テーマの協議を行いたいと思います。本日は、正副委員長手元で調査テーマの案を作成いたしましたので、それを基に委員の皆様からご意見をお伺いし、協議を行ってまいりたいと思います。なお、協議については自由協議の形式により行いたいと思います。自由協議中は録音を止め、私からの発言許可も不要といたしますので、積極的なご発言をお願いします。

それでは、自由協議を開始します。録音を停止してください。

【この間自由協議】

（沢井和宏委員長）では、今ご意見いただいたように、持続可能な地域コミュニティーの形成に向けた町内会の在り方に関する調査というテーマで行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）次に、議長に提出する調査申出書に記載する内容の案を用意しましたので、ご覧ください。

【資料配付】

（沢井和宏委員長）それで、調査事項は持続可能な地域コミュニティーの形成に向けた町内会の在り方に関する調査としまして、２番目、調査目的としまして、価値観の多様化に伴う加入率の低下や高齢化の進展等に伴う役員の高齢・固定化など、町内会を取り巻く環境は深刻化している。一方、生活環境の整備や住民相互の交流を支える地域コミュニティーの中核として、町内会が果たすべき役割は一段と重要度を増している。このことから、持続可能な地域コミュニティーの形成に向けた町内会の

在り方に関する調査を行うことにより、快適で住みよい地域社会を実現に資することを目的とする。

調査方法としては、今までやってきたように当局説明、参考人招致、行政視察等の方法によって行います。

調査期間は、令和８年５月から調査終了時までの期間としまして、スケジュールとしましては来年の３月議会に委員長報告を行えるような、そういうスケジュールで行いたいと思います。それで、スケジュール案としましては、この次から、第１回から第12回ぐらいで３月議会に提案できればいいかなと思っております。

よろしいでしょうか。

（鈴木正実委員）ちょっと１つだけ確認したいのですけれども、この調査事項の持続可能な地域コミュニティーの形成という、これはどういう意味合いなのか。地域コミュニティーとしての新しくつくっていくという感じになるのだけれども、そうではなくて維持であるとか、何か形成とは違う言葉を使えばいいのかなというふうに。

（沢井和宏委員長）ああ、なるほどね。何となく新しくつくり直すみたいなイメージになってしまうと。

（鈴木正実委員）そうそう。ないところにつくってというニュアンスにならないのかなと。

（沢井和宏委員長）前の持続可能なというのが重きを置かれると思うのですが。

（半沢正典委員）形成を除いたらいい。コミュニティーに向けたで。俺は気になりませんけど。

（鈴木正実委員）今言ったように、持続可能ながコミュニティーにかかってくるのか、逆に町内会にかかるのかによって言葉の表現が変わってくるのだけれども。

（沢井和宏委員長）両方にはかかるのでしょうけれども。

（石山波恵委員）形成が気になるんだったら、形成を消せば、コミュニティーに向けたって。

（鈴木正実委員）形成って形づくるだから。

（沢井和宏委員長）コミュニティーの形成でなければ、例えばコミュニティーづくりに向けたとか。

（石山波恵委員）あんまり余計なのをつけないで、コミュニティーに向けたで分かりやすいと思います。

（沢井和宏委員長）では、削って、持続可能な地域コミュニティーに向けた町内会の在り方というように。

（鈴木正実委員）それだと一つ収まりがいい。

（沢井和宏委員長）分かりました。では、ここの部分、コミュニティーに向けた町内会の在り方というふうに変更させていただきます。

そのほかありますか。

（鈴木正実委員）あと、下の調査の目的にも形成と出てくるので、そのところも。

（沢井和宏委員長）では、今ご意見いただいた形成の部分を消したものを所管事務調査実施内容とし

て。

（鈴木正実委員）つながりとかは後で調整して。

（沢井和宏委員長）では、調査事項のほうの持続可能な地域コミュニティーの形成に向けた、の形成を消します。それから、２、調査目的の下から３段目のコミュニティーの形成のところのの形成もカットいたします。それから、その下の快適で住みよい地域社会を実現にってあるんですけど、何か読んでいておかしいですね。ここをのに変えてください。地域社会の実現に資すると。このような所管事務調査実施内容についてを基に、これから議長のほうに提出していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）ありがとうございます。

それでは、最後、その他となりますが、皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）なければ、それでは以上で本日の総務常任委員会を閉会といたします。

午後１時30分　　散　　会

総務常任委員長　　沢　井　　和　宏